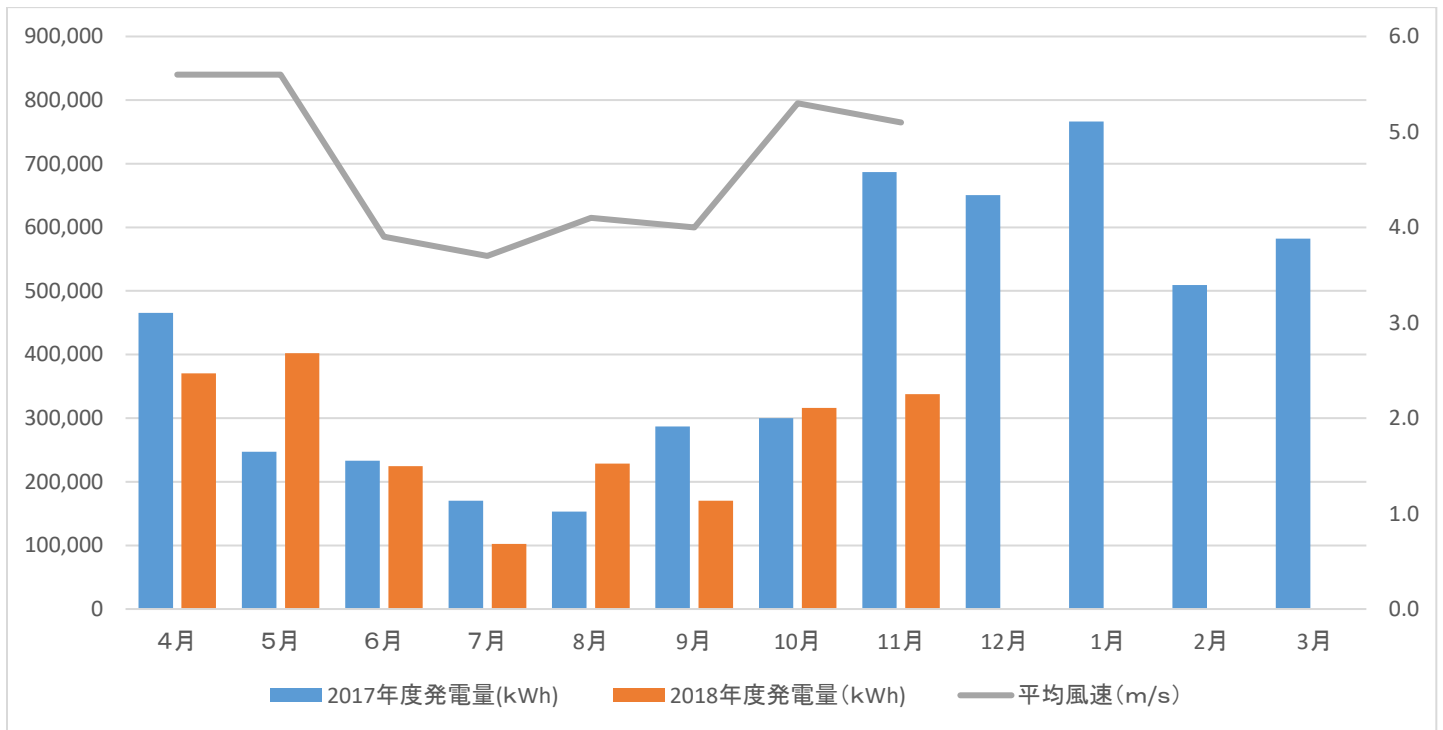


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 発電実績



11月度運転状況について

○風況は前年同期と比べ3.3m/s低く、運転開始以来最も低い実績となりました。

例年は、11月を過ぎると曇りや雪または雨の日が多くなりますが、今年は気温も高く晴れた日が多くなりました。

○発電量は前年同期に比べて49.2%となりました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	370,505	5.6	96.6
5月	402,151	5.6	92.3
6月	224,714	3.9	98.4
7月	102,149	3.7	76.2
8月	228,380	4.1	96.9
9月	170,112	4.0	96.8
10月	316,349	5.3	94.4
11月	337,943	5.1	99.9
12月			
1月			
2月			
3月			

生活クラブ神奈川・東日本大震災復興支援祭りに参加しました



2018年11月10日(土)、横浜市みなとみらいの臨港パークで、6回目となる生活クラブ神奈川主催「東日本大震災復興支援まつり2018」が開催されました。

震災から7年が経過し、被災地への関心が薄れてきている中、3.11を風化させないために、美味しい物産と共に、人々が交流しつながりをもつお祭りです。当日は、神奈川県内を中心に1万2千人(主催者発表)の参加で賑わいました。

今年も、秋田県にかほ市と、グリーンファンド秋田で出店し参加しました。

グリーンファンド秋田では、にかほ市の伊藤製麺所の伊藤実さんと一緒に夢風ブランド品の「タラーメン」の生麺をつかったタラーメンの販売を行いました。今年は、暑いぐらいのお天気でしたが、「タラーメン」のブースの前には長い行列ができ、大人気となりました。ラーメン206食がお昼過ぎには完売となりました。

秋田県にかほ市からは、市役所の越川雄一さんと高橋潔さんが参加し、「かりんとう」や「きりたんぼ」「バター餅」「塩漬け燻りはたはた」など、道の駅象潟ねむの丘物産の販売を行いました。

また、ステージでの挨拶も行い、生活クラブ風車「夢風」やタラーメン、にかほ市をアピールしました。



今年も夏合宿でにかほ市にお世話になりました法政大学の西城戸ゼミの学生さん3人にお手伝いを頂きました。

また、生活クラブ神奈川環境平和委員会の組合員の方、グリーンファンド秋田の理事、生活クラブ自然エネルギー推進PJの事務局の方にもお手伝いいただきました。

当日の売り上げの5%を東北の復興支援にカンパすることが出来ました。ありがとうございました。



奥左から、にかほ市役所の高橋さん、越川さん、伊藤製麺所の伊藤さん、生活クラブ千葉の宮間さん。
前左から、さがみ生活クラブの矢野さん、GFA 鈴木、法政大学の学生さん。

第11回にかほ市ふるさと会に出席しました



＜写真は土谷理事長のFBより、抽選会で不正が無いよう「なまはげ」が見守る＞

2018年11月18日（日）第11回にかほ市ふるさと会が東京プリンスホテルで開催され、グリーンファンド秋田代表理事で生活クラブ神奈川専務理事の半澤彰浩さんと生活クラブ東京理事長の土谷雅美さんが来賓として出席いたしました。

秋田県にかほ市は、2005年に、象潟（きさかた）町、金浦（このうら）町、仁賀保（にかほ）町の三町が合併して誕生しました。その2年後に、にかほ市ふるさと会が誕生したとのことです。

ふるさと会では、「にかほ市のこの一年」の様子を紹介や、アトラクションもあり、首都圏に住むにかほ市出身の方々の懐かしい交流の場となっています。

夢風ブランド「純米大吟醸 夢風」の新酒ができました

株式会社飛良泉本舗と生活クラブの組合員が開発した夢風ブランド品の「純米大吟醸 夢風」の今年の新酒が出来上がりました。

飛良泉本舗は、室町時代の長享元年（1487年）創業という500年以上も続く、全国で3番目に古いといわれる蔵元です。以前廻船問屋を営んでいた時の屋号「和泉屋」と、当地名のかほ市「平沢」から、「ひらさわのいずみ屋の酒」として飛良泉と名付けられたそうです。

飛良泉本舗の遠田杜氏が丁寧に丹精込めて作ったお米「秋田酒こまち」を、鳥海山の伏流水を仕込み水として、低温でゆっくり発酵させた純米大吟醸のやわらかな甘みのお酒です。

今年は、秋に仕込んだ新酒を絞ってすぐに火入れをして、生活クラブの共同購入で取り組みました。

是非、年末年始にお楽しみください。

生活クラブ生活協同組合 東京

年末年始の食卓に添えたい
やわらかな甘みの
純米大吟醸「夢風」

生活クラブの組合員が企画に参加したオリジナルのお酒「夢風」は、50%に絞った秋田酒こまちを低温でゆっくり発酵させた吟醸酒。口に含むとふわりと広がるやわらかな甘みとスッキリした後味は、どんな食事にも合わせやすく、おもてなしにはもてる。家族でゆっくり過ごす良時の酒にもおすすめです。

ブルーレイの香り
あと味
スッキリ
新酒

111155
純米大吟醸 夢風
1850円（税別）

※原産地にかついている発酵の記録はありませぬ。

※ご注文の際は必ずお名前と住所を記入してください。

※ご注文は「夢風」ブランドの印です。
「夢風」ブランドは生活クラブ東京と生活クラブ神奈川が共同でつくったオリジナルブランドです。組合員が企画・開発に携わっています。

※ご注文は「夢風」ブランドの印です。
「夢風」ブランドは生活クラブ東京と生活クラブ神奈川が共同でつくったオリジナルブランドです。組合員が企画・開発に携わっています。

生活クラブムービーのエネルギー篇の撮影が行われました

生活クラブのFEC(フード・エネルギー・ケア)の取り組みを紹介するムービーを連合会で作成しています。

9月1日に、そのエネルギー篇で登場する生活クラブ風車「夢風」の撮影がおこなわれました。

風車の建設地、にかほ市芹田地区の荒川自治会長のインタビューが行われ、風車を通じた生活クラブ組合員との交流や繋がりをお話頂きました。また、トマトケチャップの原料の加工用トマトを栽培している芹田営農組合の遠藤組合長にも参加いただきました。

翌日の映画「おだやかな革命」上映の準備もあり、生活クラブ神奈川の桜井副理事長、埼玉の澁谷理事、千葉の船水理事、東京の知野課長、神奈川の半澤専務が撮影に参加しました。

完成した映像は生活クラブ連合会のホームページで1月から公開される予定です。



中央奥:荒川・芹田自治会長

風車Q & A

Q:風力発電の導入量が一番多い国はどこですか？

A:2016年度の風力発電の累積導入量は、発電能力(設備容量)で、世界第1位は中国で169GW、第2位はアメリカで82GW、第3位はドイツで50GW、第4位はインドで29GW、第5位はスペインで23GW、と続いて、日本は第20位で3.4GWとなっています。

※1GW=100万kW

(出典:自然エネルギー白書2017 認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所)

Q:日本で一番はどこですか？

A:2018年3月末現在の都道府県別風力発電導入量では、第1位は青森県で417千kW、第2位は秋田県で371千kW、第3位は北海道で359千kW、第4位が鹿児島県で263千kW、第5位は福島県で184千kWです。

首都圏では、千葉県69,950kW、東京都4,800kW、神奈川県4,770kW、埼玉県0kWです。

(出典:国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 NEDO)